

学校連携事業の実績

2012. 2.1. NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 作成

● 聞き取り【地域】（小学校各学年）

- ・ 小学校の総合学習で、地域の住民や地域で働く人を対象に様々なテーマで聞き取りの受入れを行った。
- ・ テーマは様々で、主に人権総合学習でそのとき扱っているものに沿う。
- ・ 『どんなまちになったら嬉しい?』『こどもに希望することは?』『などの質問の他、デイサービスを行う『いこいの家』への高齢者への聞き取りなど受入れテーマは多岐にわたる。



● 聞き取り × まちのいろんな施設 【地域】 (小学2年)

- ・自分たちの住む地域にある施設や、活動の聞き取りを通して、地域のいいところを知る人権総合学習の一環。
- ・“かやの老人いこいの家”“らいとぴあ21”“駄菓子子の”楽駄屋”“CAFE NICO Plus”など、各訪問先で活動内容や目的、活動している人の思いなどをこどもたちが聞き取る。
- ・うまくインタビューできるかなー？



● 聞き取り × いろんな事業 ～地域のCMを作ろう！～ 【地域】 (小学3年)

- ・15秒の動画CMを作る総合学習。希望テーマを集めたら、全て『地域の』〇〇を広めたい！という声であったことから、駄菓子屋、まちかどディハウス、人権文化センターなど、地域の各事業がCM作りのための聞き取りに協力。
- ・完成したCMは、全国から地域に視察に来た人たちへの、一つのプレゼン素材としても使用可能。



● 聞き取り × 地域の公園の話 【地域】 (小学3年)

- ・まちたんけんの人権総合授業の一環で、園のいいところ探しをする中、地域の当対池公園に注目したこどもたち。
- ・公園ができた経緯や作られる時に関わった人の思いを、当時関わった地域スタッフが伝えた。
- ・当時の小学生も参加した公園作りに、こどもたちからもいろんな質問が。
- ・この聞き取りの後、『公園のいいところ』をまとめて1年生に発表し、授業はひと段落。



● 公共施設紹介 × らいとぴあ21 【地域】 (小学4年 社会科)

- ・小学校4年生社会科“公共施設”の単元の授業へ、らいとぴあ21の紹介をするため出張。
- ・『こんなまちになったらいいな』という簡単なW. S. を行った後、らいとぴあ21の地域での役割や活動ぴあぴあルームの利用方法をスライドを用いて紹介。
- ・翌日、早速ぴあぴあルームへ来たメンバー。その後地域の祭りで出店するなど、つながりが継続している。



●遊び場探検 × らいとぴあ21 【地域】（小学1年）

- ・学校以外のおそび場を知るといふ、生活科授業の一環で、らいとぴあのぴあぴあルームを中心に子どもたちが来館。
- ・太鼓、外遊び、紙鉄砲作り、ちぎり絵、図書館探索・・・など用意したプログラムに別れて半日を過ごした。
- ・『また行きたい』『おもしろかった！（太鼓が特に！）』など好評だった。



●かやのお宝人権まつり ×ボランティア体験【地域】（中学1年）

- ・らいとぴあ21で毎年10月に開催されるまつりの当日ボランティアとして中学1年生が参加。
- ・ステージの司会・リサイクル食器の洗いもの・受付・各コーナーの手伝い・・・など。
- ・また、ステージに出演するメンバーも*（エイサーの演奏など）
- ・事前学習として、6月ごろにまつりの内容や目的、作られた背景などをスタッフと話に行っている。



● 福祉サービス“お助け隊” × ニーズ探しのコツ？ 【地域】 【福祉】 (小学6年)

- ・『地域のために自分達ができることを探そう！』という人権総合学習が進む中、地域に向けて“ニーズから具体的なプログラムを作る時のプロセスを教えて！”というオファーが。
- ・地域の人のニーズはどうやって拾うの？こんな時どうするの？どう解決するの？などの質問。
- ・つぶやき（ニーズ）から生まれた地域の福祉サービス事業『お助け隊』の活動やその目的などを紙芝居も使いながら説明。



● 視覚障害の方の話聞く 【福祉】 (小学4年生)

- ・小学4年生の福祉体験の総合学習。地域に住む視覚障害者の方に、生活の中で工夫していること、大切にしていること、また、まわりの人に協力してほしいことなどを中心にお話を聞く。
- ・近所に住む子もおり、積極的な質問も。
- ・後日、テープに吹き込んだお礼の言葉を子ども達が届け、お話して下さった方も在宅が多くなっていったので、交流をとっても喜ばれている。



● モンゴル紹介【多文化】 × 『スーホの白い馬』 (小学4年)

- ・ 学習発表会へ向けて、「スーホの白い馬」の音楽劇に取り組む小学4年生。その人権総合授業に、モンゴルの地域に入り込んでいる地域スタッフがその文化や生活・まちの様子を生々の声で伝えた。
- ・ はじめて知る文化に興味津々のこども達。たくさんの質問に、授業時間をオーバーするほど。



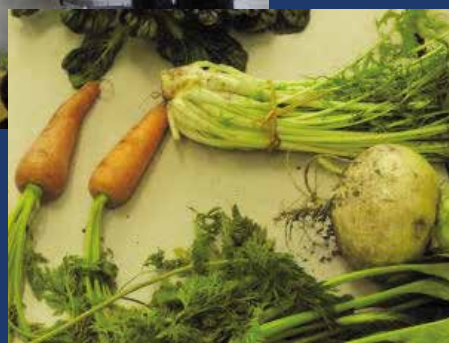
● 和太鼓を叩いてみよう【地域】 【芸能】 (小学6年 運動会)

- ・ 小学校の運動会、組み立て体操に合わせるための太鼓隊を作りたいとのことで、地域の太鼓グループ“鼓吹”に指導のオファーがあった。
- ・ 運動会当日までのタイトなスケジュールの中、放課後や休み時間を使って練習。
- ・ 元々鼓吹に所属しているこどもがアドバイス側としても活躍できる場所になった。



● 仕事や生き方に出会う 【キャリア観】 (小学生～中学生)

- 様々な生き方を送る講師が仕事への思いや内容、なぜそれを選んだかなど語った。(ex:脱サラの若き農業家・市議会委員・太鼓打ち・NPO職員・カフェオーナー・パン職人・ほか様々～)



● 一般企業以外の働き方 【キャリア観】 (大学生～一般 (ニートや引きこもり経験の方など))

- 当NPO法人のスタッフが講師となり、自身の仕事を、働き方の一つのモデルとして提案。
- その対象は、小学生～高校生だけでなく、就職を考える大学生や就労支援を受けるニートや引きこもりの青年など多岐。
- 大学生に対しては、『一般企業だけじゃない働き方の選択肢』をテーマに、学生時代に学校の外で様々な体験を積み価値観や人脈を広げることの大切さという視点で、インターンシップの勧めを盛り込み講演。



● KID'S CAFE【食・キャリア観】 (小学5年)

- ・子どもたちが自らカフェを運営し、食の大切さや職業体験を行う取り組み。
- ・萱野地域にあるコミュニティレストランNICOでまちづくりの一環として取り組んでいた内容を、萱野小学校が人権総合授業で取り入れ実現。
- ・準備段階でも、地域へ相談&聞き取り&宣伝を行いながら当日を迎えた。



● “芝樂市”× 野菜販売 【キャリア観】 【ファイナンシャル・リテラシー】 (小学1・6年)

- ・畑好きの先生と地域の通称：農業部長スタッフが出会い一気に進んだ企画。
- ・地域の朝市“芝樂市”に野菜を卸してくれている農家の方に、大根作りを教わったこどもたち。教室脇の畑で大根を育てて。
- ・できた大根は保護者ボランティアさんと一緒に料理したり、地域の朝市で販売！ 多くはないけれど、売上も初めて手にしたこどもたちは嬉しそう。



● 職場体験受入れ【キャリア観】 （中学生）

- ・ 地域内のコミュニティカフェNICOplusで、毎年10月に中学2年生の職場体験の受入れを実施。
- ・ 慣れない手つき。初めてのお客さんにも頑張って接客することもたち。
- ・ 特に地域につながるのがあるこどもが来ることもあり、そのときはこどもが地域の良さを知る機会にもなる。



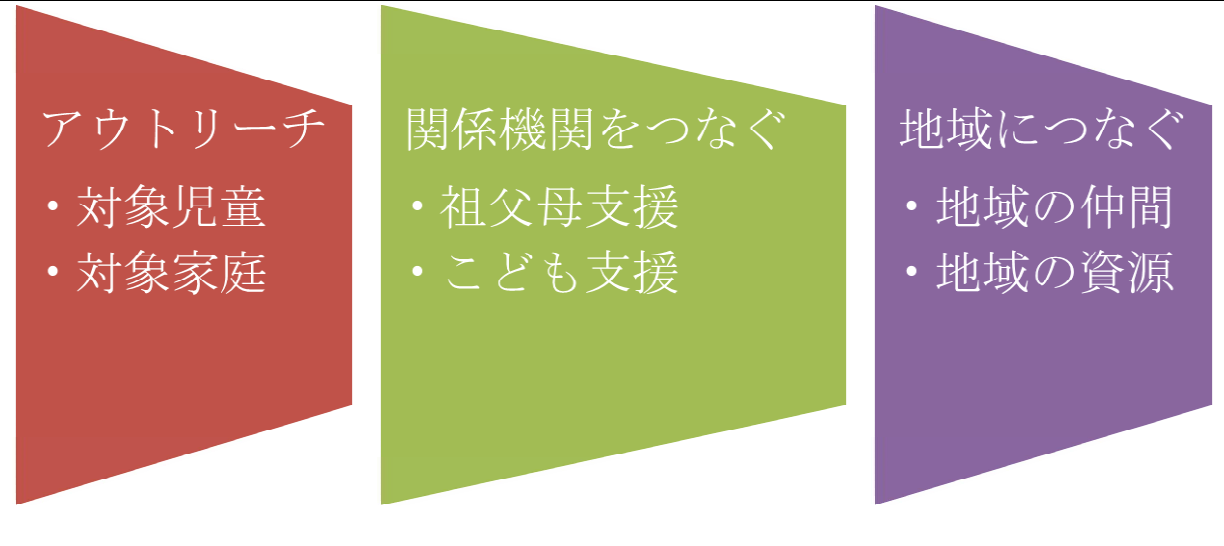
● 地域のおそうじ×“まかさん会” 【地域】 【世代交流】 （小学6年）

- ・ 「地域が元気になることを！」という人権総合学習の中で、地域のニーズから公園の掃除をすることにしたこどもたち。
- ・ せっかくならと。地域の高齢者で構成される“生きがいワーカーズ「まかさん会」”（公園掃除も仕事の一つ）のおばちゃんたちと力を合わせて、地域の公園の掃除。
- ・ パワフルなおばちゃんたちに押されながらも？ 地域のために頑張った。おばちゃんたちも大喜び。



事例 1

| | |
|------|---|
| 情報提供 | SSW（2012年度からほぼ中学校区に1名配置） |
| 概要 | 祖父母が養育の限界を痛感・児童自立支援施設への入所も含め、学校に相談。学校→SSW |
| 家族構成 | 祖父・祖母・本人（小学校6年生） |
| 学校 | 連続した友達への暴力事象・低学力・不登校傾向 |
| 関係機関 | 社会福祉協議会・地域包括センター・SSW・子ども家庭センター・子ども家庭相談室 |



関係機関をつなぐ

コーディネート機能
学校支援コーディネーター
子ども家庭相談室
SSW

祖父母支援

福祉部局

こども支援

教育部局

地域での見守り

子ども家庭センター
とのすみ分け

地域につなぐ

訪問から
場提供へ

家庭・学級・放課
後・らいとびあ

医療から
福祉へ

祖母の入院から

就労の
見直しへ

祖父の就労
生活保護など

学校・地域教育支援の立場から

